

2017 7. vol.51

社会福祉法人

愛媛いのちの電話



1985年電話相談を開始し32年目を迎えました



エナガ 雛

写真提供：石川 清治氏

撮影場所：愛媛県総合運動公園

ひとりぼっちで悩まないで……

CONTENTS

- ・10月開講します 相談員養成講座
- ・「若者の苦悩」大久保雅代
- ・ある日の電話から
- ・平成28年（2016）年度事業報告

相談電話 **089-958-1111**

毎月1日～10日：昼12時～翌朝6時
11日以降：昼12時～午後10時

インターネット相談

<http://inochinodenwa-net.jp/>

※お受けできる相談の数には限りがありますので、ご了承ください。

10月開講!

相談員養成講座

あなたに 来てほしい

あなたの一言が誰かの生きる力になることがあります

決して楽なボランティアではありませんが

ひとりぼっちで悩んでいる人のために

あなたの時間を

どうぞ

提供してください

期 間 2017年10月～2018年7月(全20回)

- ・概ね土曜日の午後の3時間
- ・一日研修と宿泊研修(1泊2日)を含む

参加資格 22才～68才の方

受講料 40,000円

別途 参考書代1,500円程度 宿泊研修15,000円
(原則としてお納めいただいた受講料はお返しできません)

会 場 松山市ハーモニープラザ3F(予定)
松山市若草町8-3

募集人数 30名

講座の内容

第1ステップ(全3回) 「オリエンテーション」
※出会いのための一日研修を含みます

第2ステップ(全3回) 「傾聴訓練」

第3ステップ(全7回) 「掛け手の理解と電話相談演習」

第4ステップ(全4回) 「社会背景の理解と電話相談演習」

第5ステップ(全3回) 「実習に向けて」
※一泊研修を含みます

問い合わせ

社会福祉法人愛媛いのちの電話事務局

〒790-8691 松山中央郵便局私書箱158号

mail ehime-1111@e-inochi.jp FAX 089-958-2014

電話 089-958-2000 (月～金10:00～16:00)

申込締切

2017年9月30日(必着)

詳しくは愛媛いのちの電話のホームページ

<http://www.e-inochi.jp/> をご覧ください

講師紹介

①趣味 ②座右の銘 ③今の職業以外でなりたかった職業



武井 義定

社会福祉法人愛媛いのちの電話 理事長
勝山幼稚園園長
臨床心理士

「人間は 体・心・魂 で出来ている」とい
う言い方をすることがあります。「体」や「心」
は分かるとして、「魂」とはいったい何でしょ
う。心理学者のC・S・ユングは『「魂」
は一つの人格を持っている」と表現しまし
た。だとするとあなたも持っているあなたの
「魂」はどんな人格を持っているのでしょ
うか。講座の中で、あなたの「心」や「魂」と
静かに向かい合う時間を持っていいただければ
と考えています。

①飲み会でワイワイ、ガヤガヤすること



青野 篤子

福山大学
人間文化学部教授

「人の一生を考える」ときに、「女性として
いかに生きるか」という問題にぶつかります。
皆さんとともに考えたいですね。

- ①研究が趣味と言ったら言い過ぎでしょ
うか?
- ②食べ過ぎない・働きすぎない・怒りすぎな
い
- ③コピーライター、新聞記者、評論家…



大久保雅代

臨床心理士
愛媛県スクール
カウンセラー

「話に耳を傾けて、相手の気持ちや思いを
丁寧にくみ取っていく」「相手の辛さ、大変
さを理解しようと想像力を働かせる」「相手
を否定しない」「障害を抱えていようとも、
仕事ができなくても、この世に生まれてきた
こと、これまで生きてきたことには意味があ
る」「一人で抱え込まない」「自分のペースで
自分のできることをやっていく」…そんなこ
とを思っています。

- ①土いじり
- ②無理は続かない
- ③?

座を開講します



越智 眞理子

医療法人眞理神経
クリニック理事長
眞理こころのクリ
ニック院長

精神科の医者になって40数年、沢山の患者さんとのご縁がありました。外来治療が中心です。そこで経験したこと感じたことなどを、少しでも皆さんにお伝えできたらと思っています。

- ①テニス・絵を描く・スポーツ観戦・カラオケなど多趣味でしたが、今は時間がありません。現在は健康目的に週1回トレーニングジムと週2回温泉に行っています。
- ②思うようにはならないが、なるようになる
- ③昆虫学者にはじまり、植物学者、考古学者、生物学者等々です。精神科医は天職だと思っています。



野口理英子

臨床心理士

松山東雲女子大学
心理子ども学科講師

限られた情報から、相手を理解し、サポートすることは難しい課題です。この課題について、講座を通して皆さんと一緒に深めていきたいと思っています。

- ①予定を立てるのが好きです。
- ②整理整頓
- ③本か犬に関わる仕事がしたいと思っています。



梶原 万裕

臨床心理士

電話相談の現場で学ぶことや工夫できることはたくさんありますが、一生懸命対応していると、時には疲れてしまうこともあります。対応の仕方をあらかじめ知っておくことで、皆さんに過度な負担がかからないようにできればと思っています。

- ①ヨガ（たまに…です）
- ②禍福はあざなえる縄のごとし
- ③花屋さん



平林 茂代

臨床発達心理士

えひめ親子・人間
関係研究所所長

いのちの電話の活動は、人と人とが会うことからスタートです。「出会って、向き合って、関わり合う」それがお互いの成長につながっていくことと言えます。養成講座のスタートでの私の役目は、参加された方同士の「出会い」と関わり合うための「場」をつくり、皆さんと心触れあいたいと思っています。

- ①これからですが、旅をしたいと思っています。



杉田 浩崇

愛媛大学
教育学部講師

人は家庭や学校、職場など様々な文脈の中で生きています。だから、人を理解することはとても難しい。でも、わかるときもある。講座では、変化の激しい現代社会で生きるとはどういうことかを探りつつ、理解可能性／不可能性のはざまについて哲学や脳科学の知見もふまえて考えます。

- ①将棋、野球観戦
- ②複雑なものを複雑なままに切り取る
- ③建築士（都市設計）



横田 和子

臨床心理士

愛媛大学・松山東雲
短期大学非常勤講師

養成講座では「傾聴訓練～体験学習とは」と「電話相談演習～心病む人への対応」を担当させていただきます。どちらの講座も、講義後の体験学習ではロールプレイをする予定です。ロールプレイが初めての方でも、段階を経て進めますのでスムーズにご参加いただけます。講座を通じて、相談者さんやご自分の理解を深め、電話相談のより良い対応について一緒に考えていきましょう。

- ①・アイリッシュハーブ（たまにきれいな音が弾けると嬉しいです）
・児童文学を読む（最近は「大草原の小さな家」）
- ②なるようになる
- ③小学生の頃はジャングル探検家。今も探検しきれない世界（ジャングル≒人の心？）への想いは変わらないのかもしれない。

新人相談員の声

1年目は丁寧な積み重ねから相手と誠実に向き合うことの意味の深さに気づき、そして2年目の今は相手との距離感の難しさを感じています。今までの私は感情移入するあまり、自分を守るため相手と誠実に向き合えずその結果寄り添えず、何か違うと思っていました。この気づきを大切にしてお応えしていければ、自分のなりたい相談員像に近づけるかもしれません。また絶えずいろいろなことを学べる組織力にも感謝しています。

(M. Y)

あっという間に1年が過ぎた……。本当に、自分ではどうしようもない事態に直面したとき、人は藁をもすがる思いで受話器をとるのだろう……。それを受け止めるのが私たち相談員の役目であるが、時に涙あり、時に笑いあり、人生は本当に波乱万丈で、受話器の向こう側の相談者の声をとおして改めていろいろな事を気づかせてもらっているような気がする。一度きりかもしれない今、この一瞬をいつまでも大切にしていきたいと思う。

(T. Y)

1か月に数時間、電話の前に座る。「はい、愛媛いのちの電話です。」声のトーンは明るくなり過ぎず暗くなり過ぎず……。電話の相手は駅に向かう方。病気の症状を抑えるための会話、話したことで無事に駅に到着した。

ある時は強い口調の方、ある時は不安で早口な方、日本各地からの電話を受ける。

ただ寄り添い、耳を傾ける。声のトーンは明るくなり過ぎず暗くなり過ぎず……。続けていこうと思う。

(H. H)



『若者の苦悩』

社会福祉法人愛媛いのちの電話
研修企画委員長 大久保雅代

若者の自殺率の高さが問題になっている。若者はなぜ自ら命を絶つのか。

ある若者の言葉「誰も幸せになってない」というのが耳に残っている。「みんな精一杯頑張っているのに、みんなイライラして傷つけ合っている」。職場では上司のパワハラがあり、家では母親が認知症の祖母を怒鳴っているのだという。誰もが忙しさに余裕をなくしており、ミヒヤエル・エンデの『モモ』を連想する。

ある若者は「怒られるのが怖い、何か一つ躓くと動けなくなる」と言う。効率が求められ、試行錯誤が許されない中で、失敗することを恐れ、竦んでしまう若者が多い。

周りは彼らが無責任だと言う。しかし彼らは、責められると思うから逃げてしまう。怒られるのが怖いから嘘をつく。罪悪感があるから言い訳をする。自信がないから現実とかけ離れた理想を掲げるのである。自己責任を過剰に抱え込む若者は、はけ口を持たず、不条理に直面した時に引きこもり、自傷行為やセルフネグレクトに至ることもある。

河合隼雄は「現代人は〈やるべきこと〉〈やらなければならないこと〉が多すぎるため、人間が自由に全人的に生きることが忘れられ、頭や小手先だけを使って頑張ろうとする。そのため歪みが問題となって生じてくる」と言う。また「せっかく若者が〈夢〉を持とうとしても、情報過多によって〈現実〉が簡単に侵入してきて、若者の夢をぶち壊してしまう。そうになると若者はいらいらしたり、興奮しやすくなっても当然だ」とも述べている。それに対して「好きなことは人間を生き生きとさせる力を持っている」とし、「好きなことが見つからない場合は、それが出てくるまで待つ」ことを勧めている。

若者の人間関係に目を向けてみると、小さい時、親が子どもを自分の思い通りに育てようとしていることが多い。子どもの気持ちを尋ねたり、考えを確認することもなく自分の価値観を押し付ける。子どもの思いは親と同じと思い込んで、子どもの話を最後まで聞こうとしない。ゆっくり待つということができない。その結果子どもは、親の前で自分をさらけ出すことができなくなっている。「親に心配をかけたくない」「迷惑をかけてはいけない」という言葉をよく聞くようになった。

子ども同士の関係も表面的で、お互いの思いをぶつけたり、悩みを打ち明け合うということができにくくなった。嫌われるのが怖いという。

生きていく上において、人との繋がりは欠かせないものである。人は、誰かに認めてもらう体験を通して自己肯定感が育つ。自分が理解され尊重されることで、相手の立場をも理解することができるようになる。自己肯定感がないと他人との信頼関係を作るのは難しい。孤立感をもったり、自分は役に立たない無価値な存在だと感じたりすると、前向きに頑張ることが難しくなる。世知辛い今の時代だからこそ、相手を尊重して傾聴に徹する「いのちの電話」という場所が、以前にも増して必要とされているのだと思われる。

..... 寄付金の税制優遇措置について

「愛媛いのちの電話」へのご寄付は、寄付金控除の対象となります。

- * 個人によるご寄付の場合、所得税や住民税について税法上の寄付金控除を受けることができます。確定申告書に当法人の交付した領収書を添付することにより、「所得控除」または「税額控除」を受けることができます。
- * 法人によるご寄付の場合、当法人への寄付金は、損金算入限度額の範囲内で損金算入をすることができます。
- * 相続または遺贈により財産を取得した方が、取得した財産を相続税の申告期限内に当法人へご寄付された場合は、控除の対象となります。

ある日の電話から

自分はうつ病がある。

内科的疾患で最近まで入院していた。体調はあまりよくない。

できなくなったことが多く、喪失感や自分の不甲斐なさを感じてしまう。

かつての仲間である友だちに相談しても、私の気持ちを理解してもらえず話がかみあわない。

それで電話相談で聞いてもらっている。

夫が60歳になり人生の転機を迎えたが、私に代わって家事に精進していてとても有難い。

夫には感謝している。

同居している父の介護も十分にできない私は、取り残されたような感じがして、夫や周囲の友人達が幸せそうに見えてしまう。

社会資源の利用はしているし、いのちの電話以外の相談手段もご存知で、実際アドバイスも受けていて、その対処の力もあることを感じ安堵を覚えた。

『自分はここに居ていいんだ』と思えるといいですね
またお電話くださいと言って電話を切った。



提供 春藤 伸一氏

※内容は実際の相談を基に構成し直したものです。

続いているということ



「ここにも新しいお店ができたね」

あちらこちら、通り沿いに新しくカフェやスイーツ店がオープンしている。

人気のカフェの駐車場はランチタイムともなるといつもいっぱいである入店をあきらめざるを得ない。

CM やフリーペーパーの最新情報を頼りに「いつかこうね」と娘と口約束はしていても、なかなか実現しない。1年か2年が過ぎて新しくオープンしたお店が無くなったりする。

夢やふれ、閉店せざるを得なかった店主の気持ちを思うと残念でたまらない。

オープン迄にどれだけ多くの困難があっただろう。

どうして続けられなかったのだろう。続けるために一番大事なことは何か。

変わらないでずっと其処に居ること、居られるということか。

愛媛いのちの電話は開設されてから一日も休みなく32年続いている。

相談員には年齢の壁もあり半数以上が引退を余儀なくされている。でも、毎年新人相談員が新しい風を運んでくれる。だから休むことなく相談活動が続けられている。すごいことだと思う。

そしてこれからも続いていこうと信じられるところがすごい。

私は愛媛いのちの電話でボランティアを始めて5年目。

八方塞がりだと感じていた以前の自分がこんな開放的な気分を味わえる自分になれるとは思わなかった。これからも一年、また一年と気持ちを新たに続けていきたいと思う。

(S. T)

社会福祉法人 愛媛いのちの電話 事業報告

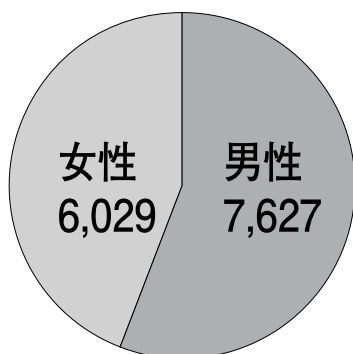
電話相談受信状況 (2016年1月1日～2016年12月31日)

- 1、受信時間 1日～10日 12時～翌朝6時
11日～月末 12時～22時
- 2、相談員 93名（実働77名）
- 3、受信件数 13,656件
そのうち自殺志向のある相談 1,407件（10.3%）

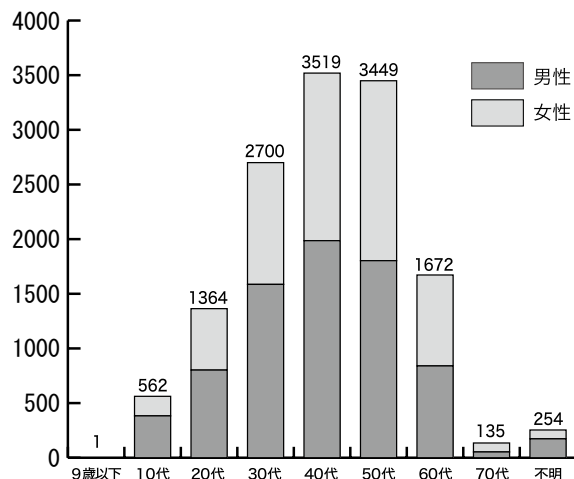
▼ 年間相談件数

	相談件数	月平均相談数	1日平均相談数
2016年	13,656	1,138.0	37.4
2015年	13,196	1,099.7	36.2
2014年	12,890	1,074.2	35.3
2013年	12,527	1,043.9	34.3
2012年	10,887	907.3	29.8

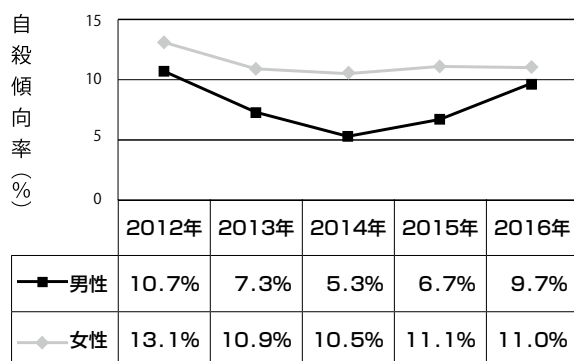
▼ 男女別相談件数



▼ 年代別相談件数



▼ 男女別自殺傾向率



自殺傾向率=自殺を訴えた相談件数／全相談件数

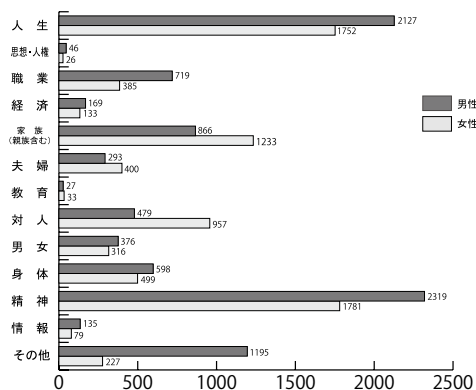
『イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン』

毎月11日にイオン松山店で実施されている『幸せの黄色いレシートキャンペーン』は、イオンさんと店に買い物に来られたお客さまのご好意で、集めたレシートの合計金額の1パーセントがボランティア団体に寄贈されるという、活動資金難のボランティア団体にとってはとてもありがたい催しです。現在イオン松山店では約30団体が登録をして、毎月11日にはイオン松山店に立ってお客さまにご協力をお願いしています。

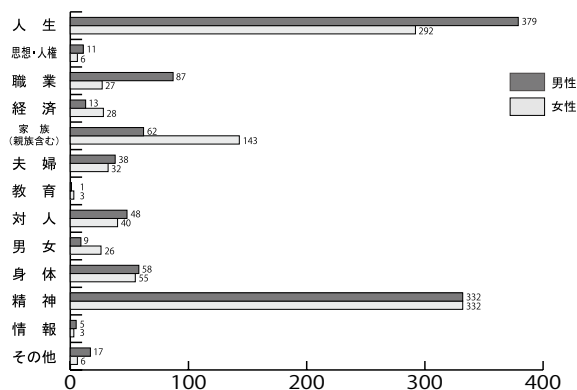
▼ 年代別相談者内訳

	男 性	女 性	計
9歳以下	1	0	1
10代	383	179	562
20代	802	562	1,364
30代	1,586	1,114	2,700
40代	1,986	1,533	3,519
50代	1,803	1,646	3,449
60代	840	832	1,672
70代	53	82	135
不 明	173	81	254
合 計	7,627	6,029	13,656

▼ 問題内容別相談件数



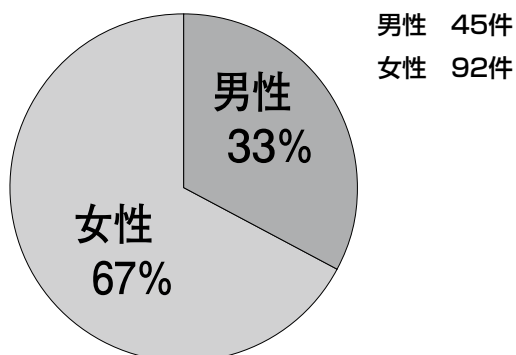
▼ 自殺を訴えた相談内容



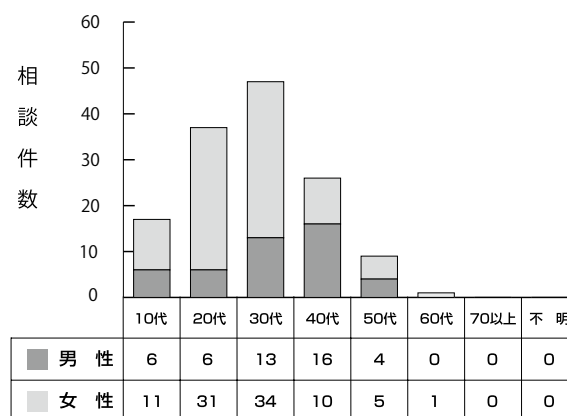
インターネット相談実施状況 (2016年4月1日～2017年3月31日)

- 1、実施日 合計24日 (2日／1ヶ月)
 2、担当相談員 17名
 3、受信件数 137件
 そのうち自殺志向のある相談 70件

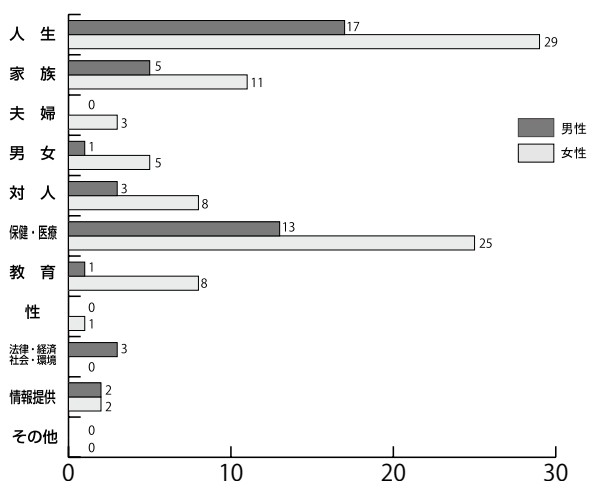
▼ 男女別相談件数



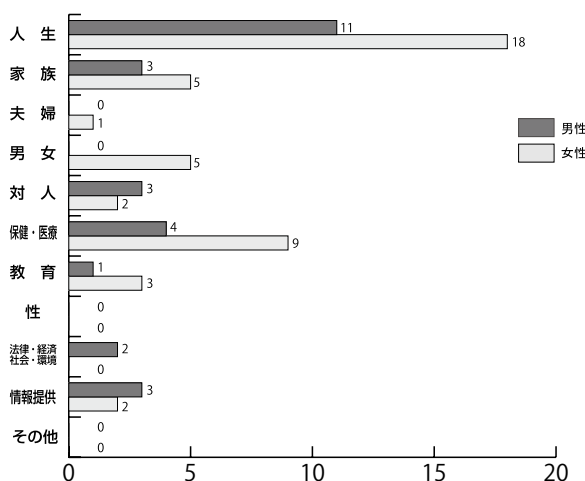
▼ 年代別相談件数



▼ 問題別相談件数



▼ 自殺を訴えた問題別相談件数



事業報告

平成28（2016）年度 事業報告（2016年4月1日～2017年3月31日）

1、理事会・評議員会の開催

- 5月18日 理事会および評議員会
平成27（2015）年度、事業報告、決算報告、
役員、評議員の改選
- 6月6日 理事会：理事長、副理事長の選任
- 12月2日 理事会および評議員会
平成28（2016）年度上半期事業報告、
会計報告
平成28（2016）年度第一次補正予算、
定款の変更、苦情処理規定の制定、
プライバシーポリシーの制定
評議員選任解任委員会の設置
苦情対応第三者委員会委員の委嘱
- 3月6日 理事会
評議員選任解任委員会への評議員選任候補者
の推薦について、来年度事業について
- 3月29日 評議員選任解任委員会 次期評議員7名の選任
- 3月30日 理事会および評議員会
平成28（2016）年度第二次補正予算
平成29（2017）年度 事業計画および予算
経理規定の変更

2、電話相談事業

- 受信時間
相談時間10時間（毎日12時～22時）
月初め10日間は（12時～翌朝6時）
電話2台 受付番号 089-958-1111
- 相談員（2016年4月1日現在）
登録相談員 93名（男23名、女70名）
実働相談員 77名（男18名、女59名）
実 習 4名（男0名、女4名）
平成27（2015）年度2,000時間受信達成者 1名
- 受信件数（2016年1月から12月）
相談件数：13,656件（1日平均36.5件）
そのうち自殺傾向のある電話：1,407件 10.3%
※参考（2015年1月から12月）
相談件数：13,196件（1日平均37.4件）
そのうち自殺傾向のある電話：1,728件 13.0%
- 新居浜分室（2016年1月から12月）
毎月4回の実施：1,500件（1日平均31.3件）
- インターネット相談（2016年4月～2017年3月）
毎月2回の実施 相談員数 17名
返信数：137件 自殺傾向のある相談70件（51.2%）
※10センター全体での返信数：2,734件
自殺傾向率：47.4%（前年46.2%）

3、電話相談員の養成と研修

- 電話相談員養成講座
第35期 4月から4名が実習 認定3名
10月8日 認定証 授与式
第36期 5月14日 傾聴スキルアップセミナー開講
受講者：12名
7月2日 終了
7月30日 後期受講希望者 面接：3名
9月5日 養成講座後期開講 受講者：2名
3月11日 修了式 修了者：2名
- 現相談員の継続研修（月1回）
 - 毎月1回のグループ研修
継続グループ数 9グループ
（1年目のわかば、2年目の青葉を含む）
訓練委員 7名 青野篤子、大久保雅代、梶原万裕、
武井義定、野口理英子、平林茂代、
横田和子
 - 全体研修会
6月19日 「新しいルール作りをめざして」
担当講師：武井理事長 参加：46名

4、委員会活動

- 研修企画委員会 各研修会、来年度の養成講座の企画と
検討、相談員の認定
 - 相談委員会 相談室内の問題点等を検討、
相談員の親睦、全体会の企画
相談員全体会：11月26日 参加：46名
 - 広報委員会 外報誌「愛媛いのちの電話」49号（事業報
告を含む）、50号を発行
 - 財務委員会 イオンデー：毎月11日、黄色いレシートキャ
ンペーンに参加 収益 92,500円
（イオンスタイル松山店+マックスバリュ
今治阿方店）
外報誌を後援会会員に郵送
 - 事業委員会 相談室内のフリーマーケット
売上：28,723円
NPO法人パステルクラブ内心身障害者作
業所パステル工房のクッキー販売
売上：13,960円
 - 統計委員会 通常の相談電話とフリーダイヤルの統計処理
連盟への報告
 - 運営会議 各会議、委員会、事務局の連絡、報告
事業の計画・実施について討議
 - 事務局 内報誌「なかま」の発行 毎月1回
助成金の申請、報告等
- ① 日本郵便㈱ 平成29年度年賀寄付金配分



申請

11月8日「コピー機の更改事業」不採択

② 愛媛県精神保健福祉協会

「愛媛県精神保健福祉思想普及事業費補助金」

③ 赤い羽根共同募金

その他 事務全般を担当

5、全国のセンター、連盟との連携

(1) 厚生労働省補助事業

- ・フリーダイヤル自殺予防いのちの電話
毎月10日午前8時から11日午前8時まで
受信件数：813件（1日平均67.8件）
そのうち自殺傾向のある電話：223件 27.4%
- ・公開講演会 平成29年2月4日(土) 14:00～16:00
愛媛県男女共同参画センター 多目的ホール
演題：「生きようとしている命、生かされている命
～ホスピスの現場で出会う命のいとなみ～」
講師：松山ベテル病院 中橋 恒院長 参加：80名

(2) 一般社団法人日本いのちの電話連盟の会合

- ・日本いのちの電話連盟定期総会（岡山）
5月27日 理事長出席
- ・全国理事長事務局長会議（岡山）
5月28日 理事長・事務局長出席
- ・第4回中国・四国いのちの電話事務局会議（岡山）
5月29日 2名出席
- ・第34回全国相談員研修会なら大会
9月15～17日 11名参加

(3) 日本いのちの電話連盟インターネット相談

① 現ネット相談員 継続研修（松山）

- I 愛媛いのちの電話 大久保先生・野口先生
7月16日
- II 東京いのちの電話 西川先生 10月8日
- III 福岡いのちの電話 松尾先生 2月18日
- IV 松山東雲女子大学 近藤智絵子先生
愛媛いのちの電話 野口先生 3月3日

② 新システム相談員養成研修（東京）

8月27～28日 参加3名
3名は連盟所属プロジェクト相談員に認定
2017年9月まで活動

③ インターネット相談プロジェクト会議 他（東京）
参加2名

6、平成28年度愛媛県自殺予防緊急対策委託事業

「インターネット相談の拡充」

7月25日契約 交付額 500,000円

7、愛媛県三浦保愛基金

「相談員のモチベーションを高めるための
新しい仕組みづくり」

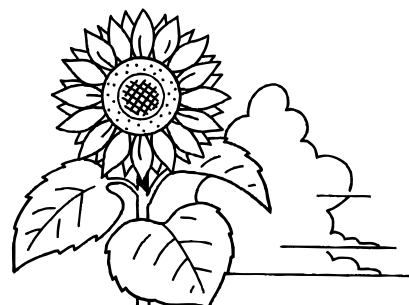
5月27日採択 交付額 300,000円

8、愛媛県・松山市 諸機関との連携

- (1) 社会福祉法人制度改革説明会 8月17日・12月5日
- (2) 愛媛県自殺対策計画策定委員会
7月25日・10月21日・1月16日
※愛媛県自殺対策計画策定
- (3) 愛媛県自殺予防対策連絡協議会 8月5日
- (4) 愛媛県被害者支援連絡協議会 6月28日
愛媛県被害者支援連絡協議会定例会 9月1日
- (5) 松山市自殺対策関係機関連絡会
4月26日・12月20日・1月17日
- (6) 松山市自殺対策推進委員会
5月26日・8月18日・1月26日
- (7) 松山市自殺予防週間啓発活動協力 9月9日
- (8) 愛媛県教育委員会「いじめ相談ダイヤル24」への協力
以上

平成28（2016）年度 役員

理事長	武井 義定				
副理事長	谷本 治				
理事	大久保雅代	川崎 佳子			
	中矢 吉男	横田 和子			
				以上	6名
監事	足立 純一	近藤 猛			
				以上	2名
評議員	青野 篤子	奥村 武久			
	越智 眞理	谷 直樹			
	西澤 孝一	原 敏彦			
	平林 茂代				
				以上	7名



事業報告

平成28（2016）年度 決算報告

2016年度 事業活動計算書

(2016年4月1日～
2017年3月31日)

勘定科目		2016年度決算
サービス活動増減の部	収益	
	その他の事業収益	1,386,200
	その他の収益	428,000
	経常経費寄附金収益	3,964,101
	サービス活動収益計(1)	5,778,301
	費用	
	人件費	2,859,923
	事業費	1,295,786
	事務費	1,533,801
	減価償却費	440,988
サービス活動外増減の部	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	▲352,197
	収益	
	受取利息配当金収益	3,696
	その他のサービス活動外収益	37,707
	サービス活動外収益計(4)	41,403
	費用	
	サービス活動外費用計(5)	
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	41,403
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	▲310,794
	特別増減の部	
特別増減の部	収益	
	特別収益計(8)	
	費用	
	特別費用計(9)	
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	▲310,794
	繰越活動増減差額(12)	9,741,445
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	9,430,651
	基本金取崩額(14)	
	その他の積立金取崩額(15)	400,000
繰越活動増減差額の部	その他の積立金積立額(16)	
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	9,830,651

2016年度 資金収支計算書

(2016年4月1日～
2017年3月31日)

勘定科目		2016年度決算	2016年度予算
事業活動による収支	収入		
	その他の事業収入	1,386,200	1,386,200
	その他の収入	428,000	428,000
	経常経費寄附金収入	3,964,101	4,090,956
	受取利息配当金収入	3,696	3,000
	その他の収入	37,707	37,000
	事業活動収入計(1)	5,819,704	5,945,156
	支出		
	人件費支出	2,859,923	2,869,000
	事業費支出	1,295,786	1,310,800
施設整備等による収支	事務費支出	1,533,801	1,565,356
	事業活動支出計(2)	5,689,510	5,745,156
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	130,194	200,000
	収入		
	施設整備等収入計(4)		
	支出		
	固定資産取得支出	600,000	600,000
	施設整備等支出計(5)	600,000	600,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲600,000	▲600,000
	その他の活動による収支		
その他の活動による収支	収入		
	積立資産取崩収入	400,000	400,000
	その他の活動による収入計(7)	400,000	400,000
	支出		
	その他の活動支出計(8)		
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	400,000	400,000
	予備費支出(10)	-	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	▲69,806	
	前期末支払資金残高(12)	7,609,843	7,609,843
	当期末支払資金残高(11)+(12)	7,540,037	7,609,843

2016年度 貸借対照表 (2017年3月31日現在)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	7,577,511	流動負債	37,474
固定資産	13,845,179	負債の部 合計	37,474
基本財産	11,554,565	純資産の部	
その他の固定資産	2,290,614	基本金	11,554,565
		その他の積立金	
		次期繰越活動増減差額	9,830,651
		純資産の部 合計	21,385,216
資産の部 合計	21,422,690	負債及び純資産の部 合計	21,422,690

監査報告書

社会福祉法人愛媛いのちの電話における、平成28年度（2016年4月1日から2017年3月31日までの会計年度）における貸借対照表ならびに収支決算報告書、財産目録及び業務について監査を実施したところ、事業の運営及び会計上、適法・正確に処理されているものと認めましたので報告します。

平成29（2017）年 5月 2日

社会福祉法人 愛媛いのちの電話

監事 進藤 隆 印

社会福祉法人 愛媛いのちの電話

監事 足立 紀 印

平成29（2017）年度 事業計画（2017年4月1日～2018年3月31日）

1、新制度による法人運営

- 4月1日：新評議員の任期開始
- 5月中旬：理事会（現役員による）
28年度決算、社会福祉充実計画、新役員案
- 6月初旬：第1回定時評議員会
28年度決算、社会福祉充実計画、
新役員の選任（現役員の任期終了）
- 定時評議員会開催日：理事会（新役員による開催）
理事長・副理事長の選任
- 3月までに：理事会

2、相談事業

- 電話相談：相談時間10時間（毎日12時～22時）
月初め10日間は（12時～翌朝6時）
新居浜分室での受信（随時…毎月4回）

3、電話相談員の養成と研修

- 電話相談員養成講座
 - 第36期 前年度よりの継続
4月～9月まで電話相談実習 2名
 - 第37期 電話相談員養成講座 10月 開講
- 現相談員のグループ別継続研修（月1回）
 - 継続グループ数9
（1年目のわかば2年目の青葉を含む）
 - 訓練委員 7名 青野篤子、大久保雅代、梶原万裕、
武井義定、野口理英子、平林茂代、
横田和子
 - サポーター養成研修

4、一般社団法人「日本のいのちの電話連盟」

他センターとの連携

- 厚生労働省補助事業フリーダイヤル
自殺予防いのちの電話に参加
 - 毎月10日午前8時～翌朝8時（24時間）
 - 公開講座 2018年9月頃に開催予定
- インターネット相談 毎月2日の受信
スーパーバイザー：大久保雅代、野口理英子、
横田和子
- 会議と大会
 - 5月26日 社員総会（東京）
 - 5月27日 事務局長研修（東京）
 - 6月18日～19日 第4回中四国事務局会議（広島）

5、運営組織の見直しと拡充

- 運営会議の開催（月1回）
各委員会の連絡、諸行事の企画・実施

- 各委員会活動（月1回）
相談、財務、広報、事業、統計、研修企画
- 外報誌「愛媛いのちの電話」（年2回）の発行と発送
- 内部報（毎月）「なかま」の発行と発送
- ホームページの更新、その他の広報活動
- 後援会との連携

6、愛媛県諸機関および松山市との連携

- 愛媛県自殺予防対策協議会
愛媛県被害者支援連絡協議会への参加
- 松山市自殺対策関係機関連絡会
松山市自殺対策推進委員会への参加
- 愛媛県教育委員会「いじめ相談ダイヤル24」

7、その他

2017年度 予算

勘定科目		金額
事業活動による収支	収入	
	補助金事業収入	289,000
	その他の事業収入	550,000
	会費収益	420,000
	経常経費寄附金収入	4,300,000
	受取利息配当金収入	3,000
	雑収入	0
	事業活動収入計(1)	5,562,000
	支出	
	人件費支出	2,869,000
施設整備等による収支	事業費支出	1,230,000
	事務費支出	1,363,000
	事業活動支出計(2)	5,462,000
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	100,000
その他の活動による収支	収入	
	施設整備等収入計(4)	0
	固定資産取得支出	0
	施設整備等支出計(5)	0
その他の活動による収支	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0
	収入	
	積立資産取崩収入	0
	その他の活動による収入計(7)	0
その他の活動による収支	支出	
	その他の活動支出計(8)	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0
	予備費支出(10)	100,000
当期資金収支差額 合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0
【資金残高】		
前期末支払資金残高(12)		7,540,037
当期末支払資金残高(11)+(12)		7,540,037



あたたかいご支援 ありがとうございます



2016年11月1日～2017年4月30日までに、次の方々から社会福祉法人愛媛いのちの電話への寄付または愛媛いのちの電話後援会への会費としてご支援をいただきました。心より感謝申し上げます。今後ともご指導、ご協力をお願い申し上げます。(五十音順・敬称略)

個人

138名の方から
ご寄付いただきました。

※2017年5月30日、改正個人情報保護法が施行されたことを受け、今回は勝手ながらご寄付いただいたり会費を納入してくださった方々の個人名を掲載しないこととさせていただきます。どうぞお許しください。

団体

東汽船株式会社	株式会社エム・ワイ・ティ	日本キリスト教団丹原教会
安藤工業株式会社	おりひめ友禅株式会社	日本キリスト教団砥部教会
株式会社イオタオーエーシステム	株式会社門屋組	日本基督教団三島真光教会
医今村循環器科内科	株式会社関西建物	伯方造船株式会社
伊予興業株式会社	桑原運輸株式会社	富晴産業株式会社
伊予鉄道株式会社	国際ソロプチミスト松山	株式会社松山建装社
エヌティティ労組退職者の会	株式会社松栄印刷所	公益財団法人松山済美会
愛媛県信用農業協同組合連合会	日蓮宗 瑞応寺	松山東雲女子大学・短期大学キリスト教センター
愛媛建物株式会社	大ーガス株式会社	有限会社大和屋本店旅館
MS & AD ゆにぞんスマイルクラブ	新居浜商工会議所女性会	ライフ・アドヴァイス・サービス株式会社
	日東石材工業株式会社	連合愛媛
	日本基督教団西条栄光教会	ロッキー産業株式会社

商品提供

イオンリテール(株) マックスバリュ西日本(株)



日本いのちの電話連盟

ホームページ

<http://www.inochinodenwa.org>

自殺予防公開講演会

「生きているということは」



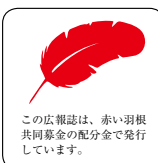
～上條恒彦の
トーク&コンサート～
講師 上條恒彦氏

日 時 2017年9月3日(日)
開 演 13:30～(開 場 13:00)
会 場 愛媛県男女共同参画センター 多目的ホール
(〒791-8014 愛媛県松山市山越町450)
参加費 無 料
主 催 社会福祉法人愛媛いのちの電話
厚生労働省自殺予防対策補助事業の一環として毎年開催しています。

編集後記

今回の表紙も野鳥です。「ひとりぼっちで悩まないで…」のメッセージが届く1枚を選びました。提供してくださった皆様に感謝します。
春～初夏、さえずりにふと足が止まる。「どこ？ あっ見つけた！子育て真っ最中かな。」野鳥も私たちと共に生きている。でも身近にいてもなかなか気付かない。力の限り鳴いているだろうに自ら耳を傾けないと聴こえない。人も同じ。
私たちは野鳥の声を聴くように、電話の声を聴いています。

(M. W)



発 行 社会福祉法人 愛媛いのちの電話
発行者 武井義定
編 集 広報委員会
事務局 〒790-8691
日本郵便株式会社
松山中央郵便局私書箱158号
TEL (089) 958-2000
FAX (089) 958-2014
<http://www.e-inochi.jp/>